

# 2019年度 美麻小中学校グランドデザイン



## 自律した学習者

よりよく生きるために、いつでも・どこでも・誰とでも学べる人

3つの学び方「わからないと言うこと」「友達の声に耳を傾けること」「自分のわからなさを追究すること」を全ての子どもに身につけます。

「聴く・問う」から始まる対話活動を中核に据えた教育活動を重視し、主体性や思考力・判断力・表現力を養います。

学びの発達に着目して教育課程を編成し、義務教育9年間を「協働の学び」でつなぎます。

全職員が子どもの発達に応じて「聴く」姿勢を基本にした支援を行い、心の安定を図ります。

学び合える教師集団、学び続ける教師を視点において、課題研修・共通研修・マネジメント研修を行い、教師力を高めます。

育てる会や美麻地区の皆様と協力して、全国から集う山村留学生を育てます。

公民館や地域づくり会議と協働して、美麻地区文化祭や地区運動会等の地域行事に参加し、社会とのつながりを考える場を積極的に取り入れます。

コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効に機能させ、地域の方々が学校づくりに積極的に参画できるようにします。

総合的な学習では、学校支援隊や長野大学と共に学ぶ場「美麻市民科」と「夢の時間」を位置づけ、ふるさと美麻（対象）や友達、自己との対話を深められるようにします。

隔年で5・6年生の米国メンドシーノ訪問交流と全校による美麻訪問交流を通して、異文化理解と国際感覚を養います。

育成する「生涯学び続けるための基礎力」  
(基本的生活力 中核的学力 社会力)

ジャンプ期（8年～9年）

自らの生活を拓く学び

ステップ期（5年～7年）

ものごとの根拠を探る学び

ホップ期（1年～4年）

体験的な学び

地域との協働により

ふるさと美麻を愛し、語り、  
想い続ける児童生徒

職員間の協働により

対話を通して、思考・判断・表現しながら、主体的に学べる児童生徒

## 協働の学び

### 重点2（体づくり）

元気アップ運動を継続し、持続可能な体力向上と健康生活の習慣化を目指します。

### 重点1（学びづくり）

発達段階に応じ、思考スキルを活用して対話活動が活性化する授業づくりを目指します。

### 重点3（集団づくり）

自治活動や歌声づくりを基盤として、ブロックを越えて信頼し合う人間関係の構築を目指します。

2019年度 教育課題

協働の学びの質を高める

学校教育目標

心と体をひらいて学ぶ美麻の子

教育理念

個の生き方や考え方を尊重する学校づくり

